

令和3年度 事務事業一覧 都市経営会議(令和3年3月15日開催分)
 ※【確定】査定結果及び事業内容

◆事業の「位置付け」
 ①所信表明・市政運営方針を具体化する事業
 ②所管業務に係る課題等に対応する事業
 ③法令や国・府の制度変更等に対応する事業

●施策目標17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち

事業名	事業区分	位置付け	担当部名	担当課名	査定結果	査定説明	事業の内容				概算事業費(千円) 令和2年度～令和5年度
							概要	具体的な取り組み			
								令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
電子図書館運営事業	新規	②	総合教育部	中央図書館	【○】B	利用者のニーズを把握し、よりよいサービスの提供に努めること。令和4年度以降については、図書資料の選定方法や購入経費の在り方も含め、再度検討すること。 ・電子図書館システムの導入により、コロナ禍以後の生活様式に対応した非来館型サービスを提供する。 ・読み上げ機能を備えた電子図書館システムを導入することにより、視覚障害者や学習障害者等の活字での読書が困難な方へのサービスを行う。 ・市内全児童・生徒に貸与されたタブレットにより、電子書籍を活用した学校教育の支援を行う。	—	電子図書館システムを導入の上、電子書籍約6,000タイトルを購入し、市民の利用に供する。	新たに500タイトル電子書籍を購入する	→推進	31,394